

パネリストの紹介

リア・ジャワード (Liah Jawad) 氏
(正義のための連帯財団上級ディレクター)

カブール大学卒業後、高校教員を経て、アフガン女性教育センター (AWEC) ストリートチルドレン・女性センター理事、NOVIB (オランダ NGO) 能力向上プログラム財務マネジャー、平和と統一のための協力 (CPAU) 財務マネジャー等、NGO での活動を遍歴。

2006～2008 年、英国にてセーブ・ザ・チルドレン勤務を経て、現在、正義のための連帯財団ディレクター。

マラライ・シンワリ (Malalai Shinwari) 氏
(AICO (アフガニスタン統合能力開発機構) ディレクター)

英国テレビ局・BBC でディレクター・ジャーナリストの後、2005 年にアフガニスタン人民議会 (下院) 選挙に立候補。カブールにおける女性候補者の中で最多得票を得て当選。下院議員 (2005～2010 年)。議会では、女性の権利主張について精力的な活動を行った。

現在、AICO (アフガニスタン統合能力開発機構) ディレクター、市民社会活動家、市民社会コーディネーション・センター役員。

小川 佳子 氏
(元 国連ハビタット アフガニスタン事務所 アドバイザー)

国際交流基金日本語教育専門家としてマレーシア、オーストラリア勤務ののち、1998 年から 2008 年までカンボジアに滞在。その間、王立プノンペン大学での日本語教育に従事、のちアジア工科大学でジェンダーと開発の博士を取得。

カンボジアで NGO、国連食糧農業機関の村落開発事業に従事ののち、アフガニスタン支援ミッション、国連ハビタット アフガニスタン勤務。3 年半のアフガニスタン滞在を終え昨年未帰国。

7 月中旬より JICA 専門家としてハノイに赴任、人身取引対策ホットライン体制整備プロジェクトに従事する予定。

笠井 久美子 氏
(元 JICA アフガニスタン女性の経済的エンパワーメント支援プロジェクト リーダー)

青年海外協力隊 (平成 8 年度 3 次隊) としてカンボジア・タクマウ州国立教員養成大学にて家政科教育指導の後、インドネシア・スラウェシ貧困対策支援村落開発計画 (開発と女性/ジェンダー専門家)、JICA タイ事務所ボランティア調整員 (社会開発分野担当)、JICA 本部社会開発部第一チーム ガバナンス・ジェンダーチーム特別嘱託職員を歴任。2005 年～2006 年、地方開発支援プロジェクト 短期専門家としてパキスタン滞在。

2006～2008 年、JICA 専門家としてアフガニスタン「女性の経済的エンパワーメントプロジェクト」に派遣。プロジェクトリーダー/研修計画専門家としてアフガニスタン女性課題省に勤務。

その後、JICA フィリピン事務所企画調査員 (地域開発分野担当) を経て、2010 年よりベトナム計画投資省企業開発庁・中小企業政策実施アドバイザー。